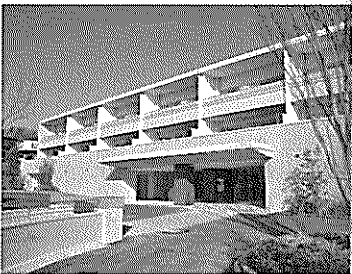


太陽光発電システムで 光熱費実質0円を実現 する新築分譲マンション

東日本大震災以降、注目を集める再生エネルギー。中でも、発電や蓄電が可能な太陽光発電システムの設備は、今や家選びの重要な要素になっている。

新築不動産の販売から再生不動産販売、不動産管理まで幅広い事業を手掛ける、東証JASDAQ上場のラ・アトレ(本社・東京都港区、脇田栄一社長)は、長野県で初となる太陽光発電システムを採用した光熱費実質負担「0円」の新築分譲マンション「ラ・アトレ レジデンス 蟻ヶ崎台」を松本市に竣工した。

昼間に発電した余剰電力を電力会社に売却し、夜間の消費電力分の収入を得て光熱費の実質負担「0円」を実現するネットゼロエネルギーを集合住宅で実現するためには、大量の太陽光パ



災害による停電時でも、自家発電システムによるエネルギー供給が可能な「ラ・アトレ レジデンス 蟻ヶ崎台」

ネルを設置するスペースや、太陽光が遮断されない高台の立地が必要となる。

「ラ・アトレ レジデンス 蟻ヶ崎台」は、周囲に遮るものがなく採光に恵まれた約1万1320平方メートルの敷地に建設された3階建てで、屋上には1805平方メートルの太陽光パネルを設置。国内でも晴天率が高い地域特性を生かして、ネットゼロエネルギーを実現している。

同社では今後も、環境に配慮しながら再生エネルギーを活用する、上質で魅力的な物件の提供を目指していく考えだ。

問い合わせ先/ラ・アトレ 経営管理部 ☎03-5405-7300